

# 「新制度で賃上げ」のウソ

## 乗務手当廃止の撤回を

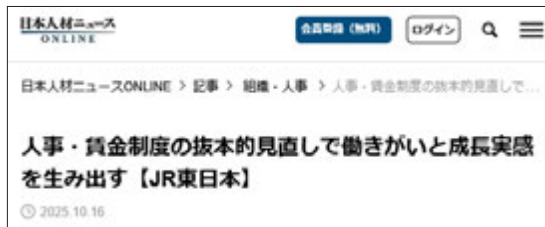
4月1日から人事・賃金制度の改悪が強行され、新たに「職務能力給」などの金額が発表されました。

### 現実とは、事実上のベアゼロ化

会社は新賃金について「平均4万3125円、約11・36%の賃上げ」と打ち出しました。表面的には「昨年の倍の賃上げ幅」かのように宣伝されています。

しかし、そこには「制度移行分」「新設した手当分」が含まれており、実際のベアと定期昇給分はいずれも平均3271円（0・92%）で、合わせても6542円（1・84%）にしかなりません。

これは昨年の定昇分とほぼ同額です。今回の賃上げ幅が「基準」なら、今後は「事実上のベアゼロ」が「当たり前」にされることになります。



「人事・賃金制度の抜本的見直しで働きがいと成長実感を生み出す【JR東日本】」（25年10月16日 日本人材ニュース）でJR東・人材戦略部のインタビューが掲載されている。

そもそも、会社自身が「制度移行時点で賃金月額が減る社員がいる」ことを

認めています。それでは「これからの賃上げ額が削られただけ」です。

さらに「都市手当」「扶養手当」から「住宅手当」「子ども手当」への移行で基準内賃金から外され、一時金の基準額に入らなくされています。年収ベースでも減額されることとなります。

### こんな制度は許せない！

何より乗務員は乗務手当が廃止されました。乗務員は毎日多くの乗客を乗せ、列車の安全と運行を守っています。早朝・深夜にわたる不規則な勤務で、十分に仮眠時間も取れず、ひとつ間違えば重大事故につながりかねない緊張が強いられる中です。会社はそれを何だと思っているのか！

これを会社は「人事・賃金制度の見直しで働きがいと成長実感を生み出す」などといって強行したのです。「働きがいを生み出す」？どこまでふざければ気が済むのか！

こんな制度では「鉄道そっちのけで資格取得や企画業務をやれ」と言っているようなものです。鉄道労働者としての誇りを踏みにじるにも程があります！絶対に許せない！すでに鉄道をないがしろにする会社施策の矛盾は明らかです。職場から人事・賃金制度改悪—乗務手当廃止撤回の声をあげよう。